

青嵐

第11号

WINTER



大学祭実行委員会の皆さん～青嵐祭にて～

特集

活躍する卒業生！！

北九大の卒業生にはこんな方々が！！

CONTENTS

01 各界で活躍中の先輩からの
メッセージ

09 会議等
お勧めの本 ・国武副学長『生物と無生物のあいだ』

05 TOPICS
・大学祭
・スポーツフェスタ
・少林寺拳法部 最優秀賞受賞
・中国語暗踊・弁論大会表彰 など

10 北方サロン
こらむ ・総務課、経営企画課

08 お知らせ
・授業料納入回数の変更
・平成20年度定期健康診断

11 入試広報 REPORT

活躍する卒業生!!

～ 北九大生へのメッセージ ～

文学部 昭和45年卒

観光業界で九州を基点とした交流を創り出し、地域の発展に貢献

私が北九州大学を卒業し、当時の日本交通公社、現在の JTB に入社してから 38 年が経とうとしています。当時は、現在のように「就活」という言葉など存在せず、皆さんの就職活動に比べると、非常に限られた情報の中で就職先を決める時代でした。

2008 年の大卒求人倍率は 2.14 倍となり、バブル期以降 16 年ぶりに 2 倍を超えました。皆さんは、自分の働きたい企業や職種に就けるチャンスが拡大した大変恵まれた環境下にあると言えます。どうか、その機会をフルに活用し、十分に企業研究を行い、自分がどのようなフィールドでどういう働き方を実現したいのかをよく考えて就職活動を行ってください。

ひとつアドバイスをするならば、「好きこそ物の上手なれ」という言葉があります。やはり、好きなことであれば力も入り努力も苦になりません。迷うことがあれば、その視点も大切にしてもらいたいと思います。

毎年、多くの学生さんが旅行業界を志望されています。弊社にも貴校から毎年数名の方に入社をいただいています。「好きこそ物の上手なれ」これを旅行業界で考えてみると、旅が好きで、その感動を他人にも伝えたいという「旅ごころ」を持った人だと思えます。「旅ごころ」を持った多くの学生さんが、弊社の入社試験に応募していただけることを期待しています。

JTB九州代表取締役社長

水嶋 修三 さん

みずしま しゅうぞう



外国語学部 平成13年卒

中国の舞台やドラマで活躍、日中両国の架け橋となる

在学中の北九大は、色々な意味で破天荒でした。一体何歳なのだろうと思わされる先輩達、競馬新聞に缶コーヒー、いつ帰宅しているのか分からない人達・・・私は受験前、方向性を決めずに入学したため、中国語も好きになれず、好きなダンスに明け暮れた日々でした。ただ在学中、周りからは“真剣に破天荒である事”を学びました。自分なりの“何か”に打ち込んでいる皆の姿を今でも思い出します。

当時小倉で DJ を始めた同期がいます。こっそりと努力するタイプだった yukke は、今でも神戸で活躍しています。また先日北京でお会いした学長、各教授の講師時代は、私達の想像を絶するものです。ただ共通点を考えてみると、要は“続けた者勝ち”という事のように。日本では、大学での専攻を実際の職業に直接リンクさせる事が少ないと思えますが、私はそれもいいと思います。好きな事を見つけたら、それを真剣に続けてみる事。今の私達には、そこに“如何に続けるか”という要素も加わっていますが、まずは貪欲に続ける事が大事ではと感じています。

仕事や生活での悩みや不安はずっと続くものだと思います。だからこそ自分の好きな事を続けて、笑って振り返られる道を進んで下さい。

女優

松峰 莉璃 さん

まつみね りり



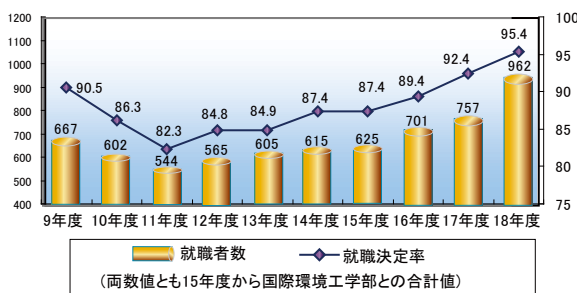
北九州市立大学は、これまでに約 46,000 人の卒業生を輩出しています。

今回は、各界で活躍中の先輩方から、在学生の皆さんにエールが届きました。先輩方は、本学でどのような学生時代を過ごし、どんなことを考えていたのか。豊富な経験を経て、今の学生に何を望むのか。貴重なアドバイスの数々、ぜひ参考にしてください。

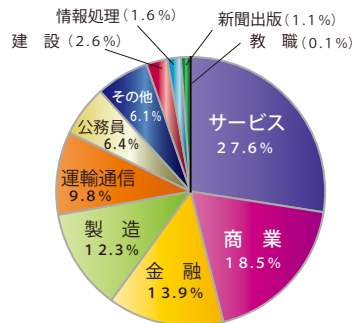
また、本学ではキャリアセンターを中心に就職活動支援を行っています。その効果もあり、平成 18 年度の就職状況は大幅に改善されました。キャリアセンターの様々な支援を大いに活用してください。（具体的な支援内容は P 4 参照）

大学と一緒に皆さんの夢を実現させましょう！！

【過去 10 年間の就職決定率と就職者数の推移】



【平成 18 年度卒業生業種別就職割合】



外国語学部 昭和 44 年卒

独自の気象情報を提供、世界最大の気象情報会社のトップ

さまざまな想いを抱いているこの時を大切にしよう。現在、大いに活躍している諸君、また思うようにことが運ばず将来に不安を抱いている諸君、“そんなの関係ない！”

大切なのは、このような時こそ自分をしっかり見直すことだ。皆さんへ先輩づらしてひとこと言わせていただくなら、“3つの「あ」”について話したい。

「あせるな」 目先のことが思い通りにいかなくても焦ることはない。この時期の結果はすべて、将来の肥やしになる。逆に今望むとおりの結果が出ていたとしても、やはり事をあせるな。目先の成功や失敗に振り回わされて、最終的な方向を誤らないようにしよう。「これから自分はどうな人間になりたいか、どんな仕事をやりたいか」など真剣に思い悩んでいい。決して焦って一発勝負的に刹那的に行動しないことが肝要だと思う。

「あなどるな」 会社もいろいろある。仕事もいろいろある。どうでもいいことをどうでもよくしないことが大切。職業に貴賤なし。

「あきらめるな」 就職とは職に就くと書くが、君達は、職に就こうとするのではなく、職を見つけそして選ぶ、もし自分の納得できる会社がないなら自分で起業する。就職を考えることは、自分の今後をじっくり考えることになる。ことここにおいては、安易な妥協はしないことだ。

流行に流されず信念を持ち、格好つけずにプライドを持ち、いま目の前の本質から目をそらさず、充実した人生を送る仕事探しの旅に勇敢にチャレンジしてください。どんなに世の中の乾燥と平凡と猥雑の埃が君たちに押し寄せようとも、夢を失ってはならない。多くの北九大生が、選んだ仕事を天職と呼べる幸運をつかんで世界の創造に貢献することを願っています。

株式会社ウェザーニューズ 代表取締役会長

石橋 博良 さん
いしばし ひろよし



経済学部 平成 17 年卒

北九大卒で初のプロ野球選手、強い意志で臨む

今の私があるのは、いろいろな方々の叱咤激励のお陰です。昨年は常々そのことを感じました。

仕事で大切なことは、目標を持って成し遂げる“意志の粘り強さ”であると思います。高校時代は無名だった私自身は、諦めることが嫌いで、その思いの強さで今の仕事に就けていると感じます。「何か目標を持った時の人の力ってこんなにあったかな」と思った場面は数知れず、自分が劣勢になったときほど初心にかえろうと冷静になるものです。

そして最も大切で、かつ、最も難しいことは“続ける”ということです。私は“地道にコツコツ”をモットーに、自分が良いと思ったことや決めたことは必ず続けます。間違いに気付いたら修正をしてまた続けます。皆さんにぜひ覚えて欲しいことは、辛いこと、苦しいことがあった後に、初めて楽しさや喜びが生まれるということです。自ら選んだ道に自信を持って行動することで、必ず良い結果がついてきます。

中日ドラゴンズ投手

中田 賢一 さん
なかた けんいち



法学部 平成15年卒

福岡県警察
刑事第一課

松尾 聡予さん
まつお あきよ

在学中の応援団活動が刑事としての自分を支える

私は現在、福岡県警察刑事第一課で、女性刑事として勤務しています。

在学中は応援団に所属し団長を務めており、公務員試験は独学で勉強しましたが、「自分は絶対に合格するんだ」という気概を持って取り組みれば必ず道は開けると実感しました。

応援団活動の中で得た貴重な体験やたくさんの方々との出会いは、今も私を支えるかけがえのない財産です。何よりそこで培った、何事も諦めず最後までやり抜く精神が、刑事としての私の根底にあり、そのお陰で現在の勤務も続けることができています。

皆さんも、大学生活の中で何かひとつ、これは！という自分を支えていると自慢できるものを持っていれば、就職活動にも自信を持って臨むことができ、その心は必ず相手方にも通じると思います。

先輩として、一応援団員として、皆さんの輝かしい未来を心から応援しています。



文学部 平成17年卒

岡野商事株式会社
四日市営業所

太田 宜彦さん
おおた よしひこ

自分を知り、会社を知ることが将来の自分を創る

私は入社してこの春に4年目を迎えます。私は就職活動をする上で最も大切なことは、自分をよく知ることであると考えます。「私はこの仕事をしたい」と思うことは大切ですが、「なぜその仕事をしたいのか」「その会社をなぜ選ぶのか」ということを明確にしておけば、どの会社に入ってもモチベーションを維持出来ると思います。

「自分の職場」は、社内の雰囲気を感じながら探すべきで、就職後のミスマッチは、本人にとっても会社にとっても大きな損害を与えます。求人案内に書かれていない“ホントのところ”はそこで働いている社員が一番よく知っています。

3年、5年、10年後に自分がどうなっていたいかを常に考え就活をして下さい。



国際環境工学部 平成18年卒

株式会社ゼンリン
システム開発部

岩丸 祐子さん
いわまる ゆうこ

女性の工学部出身者としてシステム開発に携わる

在学中は大学で勉強すること以外にも、アルバイトやサークル活動、アメリカへの語学留学など様々なことを経験しました。その中でたくさんの人に出会い、いろいろな考え方を学び、視野を広げることができました。また、自己を見つめ直すこともできました。

卒業後は、ゼンリンに就職し、現在は地図データを制作するためのシステム開発に携わる仕事をしています。開発の仕事は、プログラミング能力だけでなく、コミュニケーションも大切です。在学中にたくさんの人に出会ったことが活かされていると思います。

大学生活では自由な時間がたくさんあります。在学生のみなさんには、ぜひ様々なことに興味を持ち、挑戦し、自己の可能性を広げてもらいたいと思います。





北九大学のキャリア支援

北九州市立大学では、社会で求められる力を備えた人材を育成することに注力しています。以下の3つの理念のもと、正課の授業やユニークなプロジェクト型インターンシップ、就職ガイダンスや業界セミナー等の様々なメニューを揃えて、学生のキャリア支援に取り組んでいます。

キャリア支援の理念



- ① 「社会人」として働く動機、仕事への価値観、マナーの意識を涵養すること
- ② 社会人としての基礎力（コミュニケーション能力、課題発見・解決力、論理的思考など）の養成
- ③ 就職活動の考え方、進め方等の伝達や就職等の情報提供

北方キャンパスの支援

○キャリア・スキル科目の開講

基盤教育センターのキャリア・スキル科目として以下の講義を開講しています。職業観の醸成や社会で求められる能力を形成することを目標とします。

「キャリア・デザイン」	(1年次前期)	}平成20年度 から開講予定
「コミュニケーションと思考法」	(1年次後期)	
「プロフェッショナルの仕事」	(2年次前期)	
「プロジェクト演習Ⅰ・Ⅱ」	(2年次後期・3年次前期)	

○プロジェクト型インターンシップの実施

学生主体のプロジェクト型インターンシップは、実践的な活動の中で、仕事をするために必要な素養、能力を身につけることを目的としており、以下のようなものがあります。

- ・「オープンキャンパスプロジェクト」
高校生を招待するオープンキャンパスの企画を学生がプロデュース
- ・「キャリアセンタープロジェクト」
学生が自分たちのニーズをもとに就職ガイダンスをプロデュース
- ・「きゃりあ〜なプロジェクト」
キャリアセンターと学生をつなぐフリーペーパーを制作、発行
- ・「僕らのハローワークプロジェクト」
学生が企業を訪問し、商品・サービスの特徴、社長・若手社員インタビューなどを行い、それをまとめた冊子「ボクラノ」を制作

○就職ガイダンス、セミナーなどの開催

就職活動への考え方、進め方を伝えるガイダンスの他に、企業の人から直接話を聞く説明会や、OB、OGによる職種・業界研究セミナー、自己分析や面接等の講座、進路に悩む学生に対しキャリアカウンセリングなどを実施しています。



各企業のブースで話を聞く学生たち（就職ガイダンス）

(学生課)

ひびきのキャンパスの支援

○基盤教育科目「職業と人生設計」の開講

平成20年度から、基盤教育科目として「職業と人生設計」を開講する予定です。自らの将来ビジョンを描き、その実現に向けた課題を確認し、その課題を克服するための段階力と実行力を涵養する授業科目です。受講することにより、自ら学び、考え、将来を切り開いていけるようになることが期待されます。

○将来働く現場を想定した職場見学

通常の学内授業とは別に、就業に対する知識を深めるとともに視野を広げるため、将来働く現場を想定し、造船所や自動車工場、発電所などを見学します。

また、卒業生による「就職意識や実際の就職活動について」の講演を行います。

○インターンシップ支援

インターンシップは、キャリア形成のための就業体験として、主に春休み・夏休みを利用して行われます。インターンシップ先の紹介や、目的・マナー等を学ぶセミナーを開催しています。

○就職ガイダンス、セミナーなどの開催

エントリーシート、面接対策、就職マナーや自己分析についての講義を行います。

また、「キャリアデザイン講座」という、自己分析を行ううえで自分の特性を理解するため希望者に適性検査を実施します。試験結果の配布とともに、キャリアカウンセラーによる特別講義も行います。



女子学生向けマナー講座の様子

(管理課)

第61回青嵐祭「凜～大いなる挑戦～」を開催！



応援団・チアリーダー部の公演

11月1日(木)～4日(日)に北方キャンパスにて「第61回青嵐祭」が開催され、学生や一般市民の皆様約16,000の方が来学されました。今年度、大学祭実行委員会は「凜～大いなる挑戦～」というタイトルのもと、北九大生の凜とした姿を見せ、これまで築いてきた伝統を守りつつ新たな挑戦をしました。新しい試みとして、エコ企画「北九大をキレイにしてえー子っ・えー子っ」では、10月上旬からペットボトルのキャップやブルタブなどの回収を行い、その成果を期間中に披露しました。

1日目のメインステージでは、オープニングセレモニー後「第2回スポーツフェスタ2007」の表彰式から始まり、応援団・チアリーダー部や大道芸愛好会など日頃から地域に貢献しているサークルの公演を披露しました。

2日目には、アコースティックのバンド演奏や〇×ゲーム等が実施され、体育館では「タイムマシン3号」によるお笑いライブがありました。

3日目は、地域交流企画の小倉祇園太鼓やダンスの公演、Yosakoi や Dance☆ Revolution 公演等、踊りを中心に多くの団体が演技をしました。また文化人講演として、俳優・武道家である藤岡弘、さんが「若者よ！愛と勇気と夢を持って」と題して熱弁され、約600人が来場した本館A-101教室は満席となりました。

最終日は、恒例となっている「行けMen's」や「ミスコン」、「K.W.A. プロレス」等ユーモア溢れる催しが実施されました。

今回は、新しい企画から恒例の企画、地域交流企画など催し物がとても充実しており、学生としての自主活動や研究活動の成果を十分に発揮し、地域社会に貢献することができました。



俳優・武道家の藤岡弘、氏による講演



第61回大学祭実行委員会実行委員長
垣添健太(文学部3年)

第61回青嵐祭は「凜～大いなる挑戦～」と題し、北九大生の姿、活動の成果を発表できる祭りを目指しました。60年間守られてきた伝統を大切にしながら、更なる向上を目指し新たなことにも挑戦しました。その中で様々なことを経験し、たくさんの人と出会い、多くのことを学び、自分自身も成長していくのを実感しました。青嵐祭は北九大生の活躍を発表する祭りであるとともに、参加する人が成長していく場であると思えます。

(学生課)

第5回ひびきの大学祭 「夢現～YUMEUTSUTSU～」を開催！

今年で5回目となるひびきの大学祭が、11月10日(土)と11日(日)の2日間にわたってひびきのキャンパスで開催されました。2日間とも天候に恵まれ、約10,000の方に会場いただき、大盛況となりました。

「ひびきの大学祭」の特長として、国際環境工学科が位置する北九州学術研究都市全体のイベントである「ひびきの祭」との同時開催で、双方の多彩な催し物が楽しめること、また本学部及び北九州学術研究都市が地域に開かれた環境であることから、通常の大学祭とは異なり、子ども達や家族連れの参加が多いこと等があげられます。



メインステージでの催し



巨大オブジェは子どもたちにも大人気！



「ひびきの祭」では、柔道家の古賀稔彦さんの講演会や、恒例となった子ども向けの科学マジックショー、工作教室等が開催されました。

一方、「ひびきの大学祭」では、学生主催のステージイベントや「ブラックマヨネーズ」、「江頭 2:50」によるお笑いライブが行われ、たくさんの模擬店を出店しました。また、学内にて高校生を対象としたオープンキャンパスも同時に開催され、学科毎に模擬授業やイベントが行われました。

「ひびきの大学祭」は「ひびきの祭」とともに、地域に定着しつつあります。これからも更なる発展を目指して開催していきます。

(管理課)

ソフトボール



バレーボール



第2回スポーツフェスタ 2007 を開催！



10月20日(土)～28日(日)に北方キャンパスにて、「第2回スポーツフェスタ2007」を開催しました。「スポーツフェスタ」とは、学生同士及び学生と教職員の交流、自主活動の活性化、健康促進に寄与することを目的とした、本学の学生と教職員のためのスポーツイベントで、昨年度から開催しています。

競技種目は、昨年実施したソフトボール、バレーボール、バスケットボール、体育祭に、要望が多かったドッジボールを加え、全5競技を開催しました。また、女性や教員が参加しやすいように、バレーボールに初級者部門を設けました。さらに、開催期間を長くとり、抽選をなくして申込んだ全チームが参加できるようにしました。

体育祭 (大縄跳び)



体育祭 (リレー)



バスケットボール



ドッジボール



参加人数は全競技合わせて1,000人を超え、前年に比べ約400人増加しました。

球技についてはいずれの競技も決勝トーナメント以上になるとレベルが高く、好ゲームが続きました。また、ゼミ単位で参加したチームも多数ありました。体育祭については、主に体育会系サークルが中心となり参加していましたが、障害物競走や大縄跳び・リレー等の定番のものから、相撲や仮装行列等、ユーモアあふれる競技もありました。

今回、第2回目ということで昨年の反省を生かしつつ規模を拡大し、参加者は楽しく交流することができ、次年度以降にも継続して行なえるような素晴らしい大会となりました。
(学生課)

☆少林寺拳法創始60周年記念大会(全国大会)で最優秀賞!! ☆少林寺拳法創始60周年記念第38回全九州学生大会で 総合最優秀賞!!

11月4日(日)に日本武道館で行なわれた、「少林寺拳法創始60周年記念大会(全国大会)初段の部」にて、本学少林寺拳法部員である尾西正嗣さん〔経済学部経済学科3年〕と、秦加奈さん〔外国語学部外国語学科中国語専攻3年〕が、最優秀賞(優勝)に輝きました。本大会は、大学生のみならず一般の人全て(年齢制限なし)が対象であり、全国で約3,000人規模の大会です。



市長表敬の様子

また、少林寺拳法部としては、昨年、創部40周年を迎え、その記念すべき年に久留米総合スポーツセンター県立体育館でおこなわれた「少林寺拳法創始60周年記念第38回全九州学生大会」で、16部門中7部門で最優秀賞(優勝)を獲り、全九州23校の中から、総合最優秀賞(総合優勝)に輝きました。今後も更なる活躍が期待されます。

今回、このような素晴らしい成績を残すことが出来たため、12月25日(火)には、北九州市長を表敬し報告しました。
(学生課)

☆西日本学生中国語連盟燎原会第31回暗唱弁論大会 で1～3位独占入賞!!

12月2日(日)に関西大学にて行われた、西日本学生中国語連盟燎原会第31回暗唱弁論大会「暗誦」の部において、本学外国語学部中国語学科1年生が1～3位まで独占して入賞しました。入賞は優秀賞・準優秀賞・第3位・総領事館特別賞の順位となっています。



暗誦の部の参加者は、各大学から予選で選抜された18名で、参加校は関西大学・天理大学・京都外国語大学・名古屋外国語大学などの中国語専門教育課程を有する大学です。1～3位まで、一校独占して入賞したのは、「燎原会」史上初めてのことでした。

<受賞者>

優秀賞 : 松尾瑤子さん (外国語学部中国語学科1年)
準優秀賞 : 脇本美知花さん (外国語学部中国語学科1年)
第3位 : 川畑恵美さん (外国語学部中国語学科1年)

(教務課)



ビジネススクールイベント

●開学記念シンポジウム●

11月25日(日)リーガロイヤルホテル小倉において、北九大ビジネススクール開学記念シンポジウムを開催しました。麻生泰氏(麻生ラファージュセメント代表取締役社長)の基調講演や九州大学教授・立命館アジア太平洋大学教授・九州アジア経営塾副塾長を交えてのシンポジウムが開催され、産業界・自治体・教育機関等の関係者約150名が参加しました。



BS開学シンポジウムでの麻生氏の基調講演

●ビジネススクール説明会●

11月20日(火)～22日(木)に、北九大サテライトキャンパスのあるAIMビルにおいて、ビジネススクール説明会を開催しました。約100名の方々にご参加いただき、模擬授業や個別相談会を通して活気溢れる3日間となりました。

●カルロス・ゴーン氏との討論会●

11月23日(祝)北方キャンパス本館A101教室において、カルロス・ゴーン氏(日産自動車社長兼CEO)を招いて、本学・九州大学、立命館アジア太平洋大学のビジネススクール学生とパネルディスカッションを開催しました。学生や企業経営者など約700名が参加しました。

(教務課)

大学院社会システム研究科 報告会

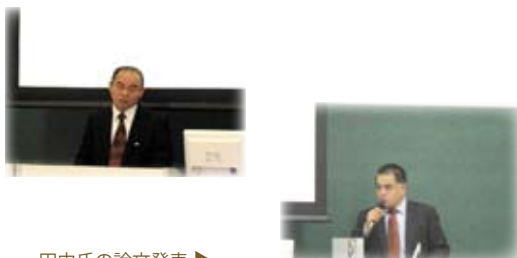
「Graduate Festa」

大学院社会システム研究科は、2002年4月に北九州市立大学に初めて設置された博士後期課程大学院ですが、2008年4月、大きく変わります。既存の修士課程が再編統合され、新しく社会システム研究科博士前期課程(現代経済専攻、地域コミュニティ専攻、文化・言語専攻、東アジア専攻)の4専攻が誕生します。

本研究科をより深く知っていただくために、講演会&報告会、研究科概要説明会を開催しています。今年度は、「Graduate Festa」と称し、12月8日(土)に本学阿南理事長の特別講演及び本研究科の博士号を取得した田中保尚氏と森脇喜一氏が論文発表を行いました。阿南理事長は、著書「鉄の絆 ウジミナスにかけた青春」で取り上げた「海外技術協力のあり方」に焦点をあて、ウジミナスプロジェクトが今日の海外技術協力に与えた影響等について講演しました。

社会システム研究科は、高度な専門知識・能力が身につく幅広い教育課程を提供しています。21世紀の知識基盤社会を支える皆さんのチャレンジをお待ちしています。

▼森脇氏の論文発表
「環黄海圏地域における外国語教育の言語社会学的研究」



田中氏の論文発表▶
「住民生活を重視した新たな地域自治制度の形成と評価
—北九州市と英国バーミンガム市の保健福祉制度の比較から」

(教務課)

基盤教育センター シンポジウム ことばの「学び」の未来へ



12月8日(土)、基盤教育センター公開シンポジウム「ことばの「学び」の未来へ：これからの英語教育を考える」を開催しました。小学校での英語必修化をみすえ、早期英語教育をめぐる賛否の議論が巻き起こっているなかで、小学校から大学にいたる学校英語教育のあり方について討論し、初等教育の現場の先生方を含め、約150名の熱心な皆様にご参加いただきました。

シンポジウムでは、小学校における英語必修化について異なった立場からの討論を通して、従来の「国語」教育も含め、学校を中心としつつ家庭や地域を巻き込んだ「ことばの学び」をどう編成していくのかという問題を改めて問い直す契機であることが浮かびあがりました。

基盤教育センターでは、今後も小学校から大学までの外国語教育のありかたについて考え続けていきます。

(基盤教育センター)

国際交流協定締結！

北九州市立大学は、11月2日(金)北京語言大学(中国)と、11月20日(火)西安交通大学(中国)と国際交流協定を締結しました。

このうち北京語言大学とは、早速今春より語学研修を開始することになり、募集を開始したところ、多くの学生の応募がありました。

今後も両校を含む協定校や他大学・団体との交流を深め、本学の国際交流をますます発展させたいと思います。



北京語言大学

西安交通大学

(国際教育交流センター)



お知らせ

✓ 授業料納入回数が変更になります

平成20年4月から、授業料の納入回数が年4回から年2回に変更になります。納入期限は下記のとおりです。

区分		納入期限		年額
		第1期	第2期	
		4月30日	10月31日	
外国語学部 経済学部	昼間主 コース	267,900円	267,900円	535,800円
文学部 法学部	夜間主 コース	133,950円	133,950円	267,900円
国際環境工学部		267,900円	267,900円	535,800円
大学院		267,900円	267,900円	535,800円

- ※ 納入期限が金融機関休業日の場合は、翌営業日となります。
- ※ 納入回数変更に伴い、在校生（平成19年度以前入学者）には、経過措置を設けています。詳細は、ホームページをご参照ください。
<http://www.kitakyu-u.ac.jp/campus/tuition.html>

(総務課)



学生相談室からのお知らせ

インフルエンザ予防してますか？

今シーズンは、インフルエンザが流行するという情報が11月ぐらいから出ていましたので、予防接種を受けられた方が多いのではないのでしょうか。予防接種を受けることでインフルエンザにかかりにくくなり、万一、かかっても重い症状になりにくくなります。しかし、流行した型が違う場合など、100%かからないわけではありませんから注意が必要です。日頃から栄養と休養を十分に取るとともに、外出後のうがいと手洗いは必ずするようにしてください。

平成20年度「学生定期健康診断」の日程

日付	受付時間	対象
4月8日(火)	10時～19時	新4年生、大学院生
4月9日(水)	10時～19時	新3年生
4月10日(木)	10時～18時	新2年生
4月19日(土)	10時～18時	新1年生・予備日
4月20日(日)	10時～18時	新1年生・予備日

※出来るだけ自分が所属する学年の日付で受診してください。ただし、どうしても都合が悪い場合は、他学年の日付でも受診可能ですので、必ず受診してください。

※日程等が変わる可能性もありますので、学内掲示板等で詳細を確認してください。

(学生相談室)



会議等

● 経営審議会 ●

第11回 12月11日(火)

【議案】

- ① 中期計画の中間総括(中間報告)

【報告】

- ① ビジネススクールの活動状況
- ② 学生の活動やキャリア支援の取り組み
- ③ 国際交流を活用した外国語教育の取り組み
- ④ その他
 - ・平成20年度運営費交付金及び施設整備補助金要求額
 - ・広報活動報告(平成19年度)
 - ・文化功労者表彰

● 教育研究審議会 ●

第61回 11月13日(火)

【議案】

- ① 教員の人事
- ② 公的外部資金の不正防止

【報告】

- ① 夏期公開講座の実施結果
- ② 平成19年度高校の進路指導担当教員との意見交換会
- ③ 北京語言大学、大連理工大学及び大連外国語学院の訪問
- ④ 第2回スポーツフェスタ2007
- ⑤ 平成19年度文化功労者表彰
- ⑥ 安全衛生講習会の開催

第62回 11月28日(水)

【議案】

- ① 中期計画総括 中間報告
- ② 学則の変更
- ③ 平成20年度学年暦
- ④ 地域創生学群入試制度
- ⑤ 教員の採用

【報告】

- ① 平成20年度推薦入試志願状況
- ② 平成20年度科学研究費補助金の申請状況
- ③ 教員の海外出張
- ④ 公的資金不正防止協議会規程の修正報告

第63回 12月18日(火)

【議案】

- ① 教員の採用
- ② 副学長の選任
- ③ 学部長等の選考に関する規程の改正

【報告】

- ① 学生プラザの利用状況
- ② 西安交通大学との学術交流

第64回 12月26日(水)

【議案】

- ① 教員の採用等
- ② 大学院学則等の改正
- ③ 学部長等の選考に関する規程の改正及び学部等選挙実施要領
- ④ 教員評価

【報告】

- ① その他(関門地域の未来を考える研究会関連記事)

第65回 平成20年1月15日(火)

【議案】

- ① 教員の採用
- ② 教員の異動

【報告】

- ① 学生早期支援システム(平成19年度後期)実施報告
- ② NBC災害対策に関する協力等の協定
- ③ 教員の海外出張



国武豊喜副学長のお勧め >>>



「生物と無生物のあいだ」

福岡 伸一 著

(講談社現代新書)

<国武副学長のお勧めコメント>

この講談社新書は昨年ベストセラーとなった。ベストセラーを薦めるのは月並みだが、それでも学生諸君に紹介したい。生物とは何か、という問いは「人間とは何か」という問いに通じる私たち人間の一大関心事である。本書は、生物学者としての著者自身のエピソードを振り返りながら、遺伝子(DNA)研究の驚くべき進歩を分かりやすく紹介し、生物とは何かの問いに迫ろうとしている。業績をめぐる科学者同士の人間くさい葛藤も鮮やかに描き出されている。著者の腕前は抜群である。文章がうまくて、読者を逸らさず、生物学の根本問題を実に分かりやすく読ませてくれる。私も一気に読んでしまった。生物学を多少は知っている私自身も、なるほど、こういう言い方があったのかと感嘆するところがある。いくつもあった。

生物学とくにDNAに関する基礎知識はすべての人に必須なものとなった。生物学に疎い学生諸君も、是非本書を読んでほしい。生き物に対する見方が変わるかもしれない。工学部で生物を学んだ人にとっても生命の本質とは何か考える手がかりになる。

国武副学長の文化功労者顕彰記念祝賀会を開催!



今年度の文化功労者に選出された国武豊喜副学長の顕彰記念祝賀会が、12月6日(木)にリーガロイヤルホテル小倉で開催されました。祝賀会は、北橋健治市長、友人である北九州商工会議所の重淵雅敏会頭をはじめ、大学関係者など約120人が出席して盛大に行われました。

国武副学長は、高分子化学分野の第一人者であり「人工細胞膜の合成に関する研究」が世界的にも知られており、この研究をはじめとして長年にわたる様々な功績が認められ、今回の選出に至りました。国武副学長は挨拶で「時代が私たちの行っている研究に近づいてきたということで、運がよかった。」「これからも研究活動を続けていく。」と研究意欲に全く衰えがないことを語りました。(管理課)

北方サロン

Vol. 16

Vol. 17



第16回北方サロンを11月21日(水)に開催し、16名の方が参加しました。

外国語学部の大平剛先生をコーディネーターに、基盤教育センターの伊野憲治先生と文学部の竹川大介先生が話題提供しました。伊野先生は「ミャンマーのゆくえ～地域研究の視点から～」というテーマで、ミャンマー政治のこれまでの歩みと今後の情勢の見通し等を現地での経験を交えて話しました。

竹川先生は「タブーの島の資源論～フィールドワークの視点から～」というテーマで、フツナ島で現在取り組んでいるプロジェクトの紹介や、滞在中の興味深いエピソードを説明しました。



第16回



第17回

第17回北方サロンは12月19日(水)に開催し、12名の方が参加しました。コーディネーターは都市政策研究所の神山和久先生で、話題提供者は経済学部の田村大樹先生と都市政策研究所の伊藤解子先生でした。

伊藤先生は「コンパクトなまちづくり」というテーマで、街なか居住の再生の必要性について、様々な資料やデータを用いて説明しました。

田村先生は「ギャンブル必勝法とパチンコ」というテーマで、ギャンブルを経済学の視点から捉えた見解や、ギャンブルの種類など普段なかなか聞かないユニークな話をしました。

●北方サロンは毎月第3水曜日に16時から開催しています。研究者同士の交流の機会を提供する場として、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

(経営企画課)

総務課

「総務課って何をしているところ?」

学生の皆さんが就職する一般の企業や官公庁の組織の中には、総務課という部署が必ずと言っていいほど存在します。本学にも本館2階に総務課があります。皆さんは立ち寄る機会が少ないので、あまり馴染みのない部署かもしれませんが、そんな知られざる総務課について紹介します。

世間一般的な総務課のイメージは、地味、静か、かたい、縁の下の力持ち、総合窓口など様々です。では、実際の総務課はどんな仕事をしているのでしょうか?総務課には庶務係と経理係の2つの係があります。庶務係の仕事は主に、教職員の人事、服務、給与、保険に関する事務や様々な制度の整備など大学で働く教職員の方に関する仕事が大半を占めます。入学式や卒業式など学内で行われる式典も担当しています。一方、経理係はその名の通り、大学の予算、決算、財務、会計、用品の調達などの経理に関する仕事、校舎の維持管理など大学の施設全般に関する仕事をしています。学生の皆さんに関係するものとしては、授業料の納入に関する仕事をしています。

総務課は、日々学生の皆さんや大学で働く教職員の皆さんのために頑張っています。皆さんが思っているほど堅いところではないので、気軽にお立ち寄りください!



(総務課)

経営企画課

「大学の変革に対応する」

皆さん、こんにちは。経営企画課です。『経営企画課って聞いたことがないぞ。一体、何をしているんだろう?』と思われる方がけっこういらっしゃると思います。

経営企画課は、北九州市立大学が法人化した平成17年4月に設置され、職員12名、現在3年目の、事務局の中では比較的新しい組織です。具体的には、①ビジネススクール設置や学部学科再編など教育組織の新設・再編、②法人化の際に策定した中期計画の進捗状況のチェックや毎年度の年度計画の策定、③この学報もそうですが大学案内等の広報物作成やオープンキャンパスなど広報イベントの実施といった大学全般の広報、④公開講座等各種講座や他大学との連携事業の実施、⑤年度計画・中期計画の実施状況に関する評価作業・・・などなど、多岐にわたる業務を担当しています。

『じゃあ、経営企画課ってどこにあるの?』普段、お目にかかる機会が少ない私達ですが、本館の2階、総務課の奥のちょっと目につきにくい場所で働いています。こんな私達ですが、目にしたり、耳にしたりしたときには、『そういえば、こんな人達がいたなあ。』と思い出してください。



(経営企画課)

推薦入試実施状況

学部	学科	推薦種別	募集	志願	受験	合格	実質倍率 (受験/合格)
外国語	英米	全国	10	11	11	11	1.0
		地域	8	21	21	8	2.6
	国際関係	全国	15	62	62	16	3.9
	小計		33	94	94	35	2.7
経済	経済	全国	30	56	56	30	1.9
		地域	25	47	47	25	1.9
		商業	15	35	35	15	2.3
		計	70	138	138	70	2.0
	経営情報	全国	30	53	53	32	1.7
		地域	25	39	39	25	1.6
		商業	15	27	27	15	1.8
		計	70	119	119	72	1.7
小計		140	257	257	142	1.8	
文	比較文化	全国	20	75	75	23	3.3
		地域	30	72	72	30	2.4
		特別	5	21	21	11	1.9
		計	55	168	168	64	2.6
	人間関係	全国	13	61	61	13	4.7
		地域	12	47	47	12	3.9
		特別	5	15	15	5	3.0
		計	30	123	123	30	4.1
小計		85	291	291	94	3.1	
法	法律	全国	40	147	147	42	3.5
	政策	全国	20	68	67	21	3.2
	小計		60	215	214	63	3.4
国際環境工	エネルギー循環化	全国	7	16	16	12	1.3
		工業	若干名	2	2	1	2.0
		計	7	18	18	13	1.4
	機械システム工	全国	5	8	8	5	1.6
		工業	若干名	0	0	0	-
		計	5	8	8	5	1.6
	情報メディア工	全国	8	9	9	8	1.1
		工業	若干名	0	0	0	-
		計	8	9	9	8	1.1
	建築デザイン工	全国	5	12	12	7	1.7
		工業	若干名	2	2	1	2.0
		計	5	14	14	8	1.8
	環境生命工	全国	5	6	6	4	1.5
		工業	若干名	1	1	1	1.0
計		5	7	7	5	1.4	
小計		30	56	56	39	1.4	
合計		348	913	912	373	2.4	

入試日程

選抜名称	一般選抜		
	前期日程		後期日程
試験日	経・文・工	外・法	全学部
	2/25(月)	2/26(火)	3/12(水)
合格発表	3/8(土)		3/21(金)
入学手続	3/10(月) ~3/15(土)		3/24(月)~ 3/27(木)

平成20年度 法学部コミュニティ・コース受講生募集

法学部で開講される専門教育科目を1年間受講できるコースです。生涯学習の一環として地域住民に大学教育を開放するもので、広く市民の方々に学んでいただける場です。本学学生とともに少人数で議論するゼミや大教室での講義などを通して、法律、政策について学んでみませんか。

- 受講期間 : 平成20年4月~平成21年3月の1年間
- 受講コース : 総合コース(6~8科目)…年額¥189,600
入門コース(2~4科目)…年額¥94,800
- 応募資格 : 満18歳以上(平成20年3月31日時点)
- 定員 : 20名(申込者多数の場合は書類選考)
- 募集期間 : 平成20年3月3日(月)~3月21日(金)
- 申し込み : 所定の書式が必要です。
ホームページからダウンロードするか、下記までお問い合わせください。

大学HP <http://www.kitakyu-u.ac.jp/>
問い合わせ先: 事務局経営企画課 (093-964-4195)

◎出張講義、高校訪問、大学訪問についてのお問い合わせは、大学事務局経営企画課(Tel 093-964-4195)までお願いします。

